

平成 29 年度新宿区外部評価委員会第 1 部会 第 11 回会議概要

<開催日>

平成 29 年 8 月 24 日（火）

<場所>

本庁舎 6 階 第 2 委員会室

<出席者>

外部評価委員（4 名）

星部会長、青野委員、荻野委員、野澤委員

事務局（2 名）

三枝主査、原田主任

<開会>

【部会長】

ただいまより、第11回新宿区外部評価委員会第1部会を始めます。

本日は評価の取りまとめです。

ヒアリングを受けて、各委員から出された評価を、部会としての評価にまとめていきます。

部会長から指名された委員は、ご自分の意見の補足説明等をお願いします。

では、計画事業58「分譲マンションの適正な維持管理及び再生への支援」についてです。

この事業は評価が分かれていますので、「適当でない」と評価した委員から、評価した理由について説明をお願いします。

【委員】

「事業の方向性」について「適当でない」と評価しました。

内部評価シートの「新実行計画に向けた方向性」の「取組方針」欄に、マンション管理相談員派遣制度の見直しを行うとあります。また、平成28年度に実施したマンション実態調査の結果、マンション管理組合がないというところも多いとのことでした。マンションの実態を把握し、事業の改善を図っていく必要があると思いますので、「事業の方向性」については、「拡充」ではなく「手段改善」が適当ではないかと思います。

【事務局】

事務局から補足ですが、「事業の方向性」については、「拡充」の中に「手段改善」の意味合いが含まれる場合があります。予算を増額し、事業を拡大して取組を進めるという場合は「拡充」になります。本事業は、新実行計画に向けてマンション管理相談員派遣件数を増やして予算も増額となる予定のため「拡充」としています。

【部会長】

分かりました。では、「事業の方向性」については、特に意見を付す必要はないのではないのでしょうか。

そのほかについては、評価や意見の不一致はないようですので、評価は全て「適当である」とした上で、このまま各委員の意見をまとめていくような形でよろしいのでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

では続いて、計画事業59「新宿駅周辺地区の整備推進」についてです。

この事業は評価が分かれておらず、全て「適当である」となっています。

また、意見の不一致もないようなので、このまま各委員の意見をまとめていくという形でよろしいのでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

では続いて、計画事業47「多様な主体との連携による多世代への防災思想の普及啓発」についてです。

この事業は評価が分かれていますので、「適当でない」と評価した委員から、評価した理由について説明をお願いします。

【委員】

指標1「多様な主体との連携」の「防災イベントに協力するNPOや事業者等の団体数」について、区の人口を考えると、目標を5団体とするのはあまりに少なすぎるのではないかと思います。目標が適当ではなく見直していく必要があると思いますので、「適切な目標設定」、「目的（目標水準）の達成度」、「総合評価」、「事業の方向性」について「適当でない」と評価しました。

【部会長】

区の人口等を考慮して、団体数を設定するのは難しいのではないのでしょうか。そこに対しての効果は測ることができないですね。

【委員】

目標設定における団体数は、防災イベントの実行委員として参加する団体の数とのことでした。協力していただくだけでも大変なのではないかと思います。

【委員】

一度に多くの団体に参加してもらおうというのは難しいと思います。毎年5団体ずつ協力していただき、少しずつ団体数を増やしていくということだと思います。

【委員】

そうですね。

【部会長】

ありがとうございます。

では、評価については全て「適当である」とします。そのほかには意見の不一致はありませんので、「総合評価」にこのまま各委員の意見をまとめていくような形でよろしいでしょうか。
<異議なし>

【部会長】

では続いて、計画事業48「女性の視点を踏まえた配慮を要する方への避難所運営体制の充実」についてです。

この事業は評価が分かれておらず、全て「適当である」となっています。

また、意見の不一致もないようなので、「総合評価」にこのまま各委員の意見をまとめていくという形でよろしいでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

では続いて、計画事業50「災害用備蓄物資の充実」についてです。

この事業は評価が分かれておらず、全て「適当である」となっています。

また、意見の不一致もないようなので、「総合評価」にこのまま各委員の意見をまとめていくという形でよろしいでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

では続いて、計画事業51「マンション防災対策の充実」についてです。

この事業は評価が分かれています。

私は「適切な目標設定」について「適当でない」と評価しました。本事業の目的は、マンションの自主防災組織を立ち上げて、それを増やしていくことです。そのためにマンション防災対策ガイドラインを策定するということですので、目標設定を自主防災組織の数としたほうがよいのではないかという意見です。

ほかにご意見いかがでしょうか。

【委員】

計画事業58「分譲マンションの適正な維持管理及び再生への支援」のヒアリングの際に伺った、マンション実態調査の結果が気になります。区内の約8割のマンションに実態を十分に把握できていないとのことですので、その点も踏まえて事業や目標を考えていかないと効果がないのではないかと思います。

【委員】

事業の目標設定が、「マンション防災対策ガイドライン」の策定となっています。その点については計画どおり進んでいると思いますが、実際にどのような効果があったのかが見えないと思います。

【部会長】

区としても、マンション管理組合や自主防災組織がきちんと運営できていないという状況は把握していて、今後はそれらの組織化に向けて推進していくということですよ。そのために、

マンション防災対策ガイドラインを策定するという関係だと思えます。

取組自体は評価できると思いますが、マンション実態調査の結果から分かるように、実態の把握が十分ではないと思えます。この点については、「その他意見」として指摘するといいいのではないかと思います。

評価についてですが、事業自体は計画どおり進んでいますので、全て「適当である」とした上で、今回出た意見を中心にまとめていく形でよろしいでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

では続いて、計画事業49「福祉避難所の充実と体制強化」についてです。

この事業は評価が一致しています。どなたも全て「適当である」としており、意見も一致しています。なにか補足はありますか。

【委員】

指標2「避難所開設・運営訓練の実施」について、年1回の実施とのことですが回数を増やしてもいいのではないかと思います。

【委員】

訓練の内容は、避難所を開設する訓練ですよ。

【部会長】

実際に協定を結んでいる福祉避難所で訓練を実施すると考えると、入所者にも影響が出そうですね。調整はなかなか難しいのではないのでしょうか。

【部会長】

訓練は年1回が妥当ではないかと思います。

では、評価については、全て「適当である」とした上で、「総合評価」にこのまま各委員の意見をまとめていく形でよろしいでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

では続いて、計画事業44「道路の無電柱化整備」についてです。

この事業は評価が分かれておらず、全て「適当である」となっています。

また、意見の不一致もないようなので、「総合評価」にこのまま各委員の意見をまとめていくという形でよろしいでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

では続いて、計画事業45「道路・公園の防災性の向上」についてです。

この事業は評価が分かれておらず、全て「適当である」となっています。

また、意見の不一致もないようなので、「総合評価」にこのまま各委員の意見をまとめていくという形でよろしいでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

では続いて、計画事業46「まちをつなぐ橋の整備」についてです。

この事業は評価が分かれておらず、全て「適当である」となっています。

また、意見の不一致もないようなので、「総合評価」にこのまま各委員の意見をまとめていくという形でよろしいでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

では続いて、計画事業52「安全推進地域活動重点地区の活動強化」についてです。

この事業は評価が分かれておらず、全て「適当である」となっています。

また、意見の不一致もないようなので、「総合評価」にこのまま各委員の意見をまとめていくという形でよろしいでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

では続いて、計画事業55「路上喫煙対策の推進」についてです。

この事業は評価が分かれておらず、全て「適当である」となっています。

また、意見の不一致もないようなので、「総合評価」にこのまま各委員の意見をまとめていくという形でよろしいでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

では続いて、計画事業87「文化の薫る道づくり」についてです。

この事業は評価が分かれておらず、全て「適当である」となっています。

また、意見の不一致もないようなので、「総合評価」にこのまま各委員の意見をまとめていくという形でよろしいでしょうか。

<異議なし>

【部会長】

ありがとうございました。では、本日はここで終了とします。

<閉会>